

ひと あい えどがわ

江戸川総合人生大学は、「地域のために自分の力を活かしてみたい」という方を応援するため、江戸川区が開設した大学です(学校教育法で定める正規の大学ではありません)。

2022.11
No. **48**

インドの野菜を応援



江戸川区で栽培している「メティ」の普及活動に参加しています。

四つ葉のクローバーに似た可愛い葉を持つ「メティ」。
インドの皆さんにはおなじみの野菜で、シャキシャキ感とほろ苦さが特徴です。
「小松菜と並ぶ江戸川区の名産品にしよう」と区内の農家さんが栽培し、
3年前から本格的に流通しています。
本学の学生たちも普及活動に参加しています。





まち16期 みんなで元気に生きるまちづくり



子育て16期 クイズ&江戸川慕情を踊ろう



国際17期 トリビアクイズ



まち17期 江戸川区ただいま売り出し中



介護17期 江戸川区から羽ばたこう



斉藤区長



北野学長



フィナーレ



第16回 大学祭

2022.7.23
タワーホール船堀

人生大学では、普通の大学と同じように、
大学祭や入学式・卒業式が
開かれています



大学祭 展示・体験 コーナー

学ぶ



まち16期

まち歩き-
健康と老化予防



子育て16期

縁日遊び



子育て17期

気づきに
気づく

友と
ともに



国際16期

この国旗は
どこの国？



パソコンサポートの会



難民・メティ
・NGO

国際17期

はばたく



初めての
ボッチャ

介護17期



まち17期

江戸川区
魅力再発見



国際16期

共に暮らそう
江戸川

昔の遊びを
楽しむ

介護16期



令和4年度の卒業式がタワーホール船堀で開催され、16期生 57名が卒業しました。

16期生は、コロナ禍で通常2年間の学業期間が1年延びて3年間となってしまいました。そのため、使い慣れないパソコン環境でのオンライン授業など、新しいことにチャレンジしなければならい

でした。北野学長は、式辞の中で「どんな経験も無駄なことはありません」と励ましの言葉を添えました。

令和4年度の入学式が東部フレンドホールで開催され、18期生として106人が入学しました。

入学式は、北野学長、並びに各学科長、斉藤江戸川区長、福本区議会議長の臨席のもとに行われました。新入学生からは、これからの学びへの期待と決意が語られました。2年間の人生大学ライフを楽しんでいきましょう。



卒業生メッセージ

コロナ禍を乗り越えた卒業

休校、オンライン大学祭、ボランティア活動の休止、懇親会自粛…。さまざまな障壁を『考えて、そして行動に移すこと』で乗り越えた卒業。自分の成長と今後の指針を実感できた3年間でした。ありがとう。

国際コミュニティ学科 16期



夫婦の話題に

入学以来、夫婦間で高齢化に関する話題が増えました。これから先の過ごし方を考えるよい時間でした。

介護・健康学科 16期



卒業式

2022.9.12

祝

入学式

2022.10.5



※写真は2021年度のもので

2年間、4つの学科に分かれて学びます

地域デザイン学部
江戸川まちづくり学科
(佐谷和江学科長)

地域デザイン学部
国際コミュニティ学科
(野山広学科長)

人生科学部
子育てささえあい学科
(笹井宏益学科長)

人生科学部
介護・健康学科
(柏女豊峰学科長)



QRコードからご覧ください

「江戸川総合人生大学の公式YouTubeチャンネル」他で2022年度の入学式、卒業式をはじめ、さまざまな動画を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



卒業生の活動取材してきました



手話サロン



< なごみの家小岩にて >

この会は、今年9月に卒業した国際コミュニティ学科16期生が、在学中のプロジェクト活動の中で「なごみの家 小岩」を訪れたことから始まりました。所長の井尻さんが、手話を学びたい私達と、手話を通してたくさんの人と交流したい講師の諸橋さんとの橋渡しをしてくださった事がきっかけです。

現在50代から90代まで、幅広い年齢層のメンバー 10名で活動しています。会としてはまだまだ『ひよっこ』ですが、多くの人に手話を届けられるよう、明るく楽しい交流の場作りを目指して頑張っています。

尚、現在ボランティア活動として、篠崎第二小学校の音楽会に向けて手話ソングを教えています。きっと素敵な音楽会になる事でしょう！

ー 諸橋ノリ子講師コメントー

今年2月から、なごみの家小岩にて手話サロンが開催されています。手話を通じて、コミュニケーションの場を作る事が目的です。私は多くの人達との交流の場が出来るようになればと思い、手話の講師になりました。多くの人達が手話によって心を通わせ合う事が出来るよう、応援したいと思います。

(上の写真 前列中央が諸橋講師)



< 授業風景 >

あいうえおの会

「あいうえおの会」は、2007年9月、国際コミュニティ学科3期生の仲間11人で立ち上げました。江戸川区に住む多くの外国人との国際交流と共生を目指しており、日本語の基本である「あ・い・う・え・お」から教えたいと考えて、命名しました。

設立から15年間、先生の田辺邦子さんのもと、区民や本校の卒業生・在校生を含むメンバーに対面授業と、コロナ禍ではZOOMで「日本語を教える学習支援」を、毎月定期的に指導いただいています。

また先生ご自身も「日本語を教えるボランティア活動」を実践されています。先生は「対象者は社会人外国人ですが、学習者のやる気をなくさないように、短い雑談やちょっとしたアドバイスを入れて行っています。学習者の日本語学習意欲に、変化が生まれるのを目のあたりにすると嬉しいです」と話されています。

先生の影響を受けて、一番多いメンバーで14名の外国人を担当、各メンバーも1～4名を担当しています。さらに「あいうえおの会」以外のボランティアに所属しているメンバーもいます。国籍は、ベトナム・中国・インド・イエメン・バングラディッシュと多岐にわたり、週1回60分～90分で毎回創意工夫して行っています。

「あいうえおの会」では、日本語を習得したい外国人の強い目的意識と、将来の考え方に気づきと刺激を受けながら、「日本で生活している外国人が、日本語がわかれば、もっと生活しやすくなる」との思いで、前向きに活動を展開しています。



「あいうえおの会」集合写真前列中央 田辺邦子先生 撮影7月12日

卒寿の仏像彫刻

私は北海道美唄中村農場で、昭和6(1931)年生まれの91歳です。

拓殖大学を卒業後平和相互銀行に入社、東京富士信用組合を経て平成4(1992)年退職。退職後佐藤税理士事務所を開業、その他に不動産業も併せて営みました。

元来旅行好きだった私は、秩父三十四観音霊場を始めとして数多くの霊場を訪れ、巡礼の旅を通じて仏様を彫ってみたいと強く思うようになり、巣鴨にあるとげぬき地蔵尊「高岩寺の仏像彫刻教室」において、平成7(1995)年から習い始めてもう27年も経ちました。

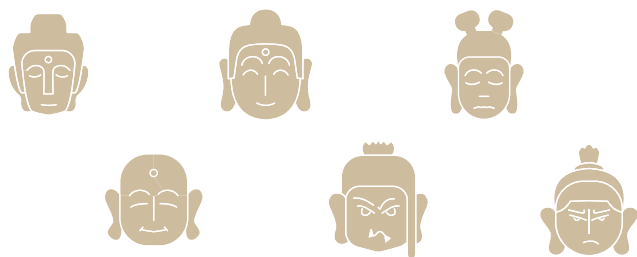
☆仏様を木彫りで作るには次の行程で行います。

- ①仏様の絵姿を方眼紙に正面図・右側面図・左側面図・後側面図と写し止めます。
- ②方眼紙の図面を視ながら粘土で仏様を制作していきます。
- ③粘土で制作した仏様を参考にしながら檜を使用して仏様を彫り出します。

私が今までに作成した仏様は、久世観音、地蔵菩薩、聖観音、童観音、阿弥陀如来、釈迦如来、大日如来、薬師如来、不動明王、吉祥天、大黒天、恵比寿等15種類22体の仏様を彫り作成しました。

私が江戸川総合人生大学に入学しようとした理由は、町内会の掲示板で江戸川総合人生大学のポスターを見て、百歳まで生活するための生き甲斐を求めるためと、今後の健康維持管理をどうすべきか?等を学ぶために受講を決断しました。

介護・健康学科 17期生 佐藤久司



同窓会の窓

江戸川総合人生大学は18期生が入学され、新年度を迎えました。同窓会は会員約450名で第16期がスタートしました。今、コロナ禍で停滞していた社会経済活動も活発化してきており、今年こそはと「楽しみの共有と絆づくり」を目標に各種行事を実施したいと考えております。講演会や親睦を図る行事、社会貢献に繋がる活動グループの支援、在校生との交流など多岐にわたり活動していきます。

同窓会活動は、ホームページにおいて機関誌「同窓会だより」や会員からの投稿、活動のお知らせ等を随時紹介しております。

本年は以前の日常を取り戻し、支え合いながら創造的に人と人との繋がりを紡いでいきたいと考えています。

同窓会会長 松浦松子

同窓会ホームページ



編集後記

前号の特集「私たちのキャンパスライフを紹介します!!」の第二弾として、今回は大学祭と卒業式、入学式を取り上げました。人生大学では授業の他にも、様々な活動を行っています。この「ひと・あい・えどがわ」の編集制作もその一つ。区民みなさんに、人生大学をもっと知っていただけるように、これからも親しみやすい紙面作りを心がけていきます。

花上憲司

編集委員

江嶋裕二・篠崎広樹(まち16)、中嶋美代子・新田隆(国16)
佐藤知子・若松信行(子16)、伊香三省・米村康子(介16)
花上憲司・真瀬健一(まち17)、大塚恭子・難波紀代子(国17)
佐藤晴美・福田裕子(子17)、秋葉成人・池田正子(介17)

